

国際シンポジウム

20世紀の和紙

— 寿岳文章 人と仕事 —



芹沢銈介作「和紙の産場」『紙漉村旅日記』(1944年、明治書房版) 折込地図

寿岳文章・静子の調査旅行姿 (1939年5月)

英文学者であり和紙研究でも知られた^{じゅがくぶんしやう}寿岳文章(1900-1992)は、向日市の西向日住宅地に1933(昭和8)年、居宅“向日庵”を建て、そこを拠点に理想の書物の制作に取り組み、また日本全国の伝統的な手漉紙の産地を、妻静子とともにめぐり調査しました。集めた紙は80年以上前の日本で漉かれた紙を網羅し、唯一無二のコレクションとして世界からも注目されています。

寿岳が残した「20世紀の和紙」と手漉紙をめぐる世界の状況について、国内・海外の研究者や紙の作家がオンラインで集い、研究発表します。

プログラム

※時刻はおおよその予定、〈 〉は米国東海岸時刻

9:30 〈20:30〉	ウェルカム・スピーチ 安田 守 向日市長
9:40 〈20:40〉	「寿岳文章の生涯と和紙研究」 中島俊郎 甲南大学名誉教授、特定非営利活動法人向日庵理事長
10:05 〈21:05〉	「ダード・ハンターの功績について」 キャスリーン・A・ベイカー 紙史研究者兼教育者
10:30 〈21:30〉	「寿岳文章収集和紙の資料的価値」 山仲 進 兵庫県多可町立杉原紙研究所・和紙博物館寿岳文庫
10:55~11:15	休憩
〈21:55~22:15〉	*バーチャル展覧会「寿岳文章 人と仕事」配信(15分)
11:15 〈22:15〉	「文化の側面から見た南アジアの手漉紙」 クレア・クッチオ 独立研究者、学術編集者兼翻訳者
11:40 〈22:40〉	「アートにおける手漉紙、その近年の動向」 リン・シュアーズ アーティスト
12:05 〈23:05〉	報告者による意見交換、まとめ
12:30 〈23:30〉	閉会


司会 佐野真由子 京都大学大学院教育学研究科教授

2021(令和3)年

10月16日(土)

9:30~12:30 (日本時間)

主催 寿岳文章人と仕事展実行委員会、向日市
共催 特定非営利活動法人 向日庵

 文部科学省 令和3年度文化芸術創造拠点形成事業

会場

- ① WEB 会議システム上(オンライン配信)
- ② 向日市文化資料館 研修室(配信映像を投映) ※同時通訳あり

定員

- ① オンライン配信定員：500名
- ② 来場定員：40名(日本語の音声流れます) ※参加無料、定員になり次第締め切り

申込み

シンポジウム専用申込フォームからお申し込みください。



<https://ws.formzu.net/fgen/S49621887/>

お問合せ

向日市文化資料館
〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40-1
電話 075-931-1182 / ファクス 075-931-1121
<http://www.city.muko.kyoto.jp/kurashi/bunka/>



ウェルカム・スピーチ

安田 守 向日市長

向日市物集女町出身。藤田医科大学卒業後、臨床検査技師として大阪医科大学附属病院に勤務。日本大学大学院(修士: 国際情報)修了。向日市議会議員を1期4年、京都府議会議員を2期8年務め、2015年から現職。



司会

佐野真由子

京都大学大学院教育学研究科教授 専門は外交史・文化交流史、文化政策学。著書に、『万博学一万国博覧会という、世界を把握する方法』(編著、思文閣出版、2020)、『幕末外交儀礼の研究—欧米外交官たちの将軍拜謁』(思文閣出版、2016)、『オールドコックの江戸—初代英国公使が見た幕末日本』(中央公論新社、2003)、他。

報告者



中島俊郎

甲南大学名誉教授、日本ヴィクトリア朝文化研究会会長、特定非営利活動法人向日庵理事長

ヴィクトリア朝以降の「視覚芸術と文学の相関関係」を専攻している。国際学会で「和紙と文学創造」(イギリス、ケンブリッジ大学)、「写真家としてのルイス・キャロル」(フランス、レヌヌ大学)、「ヴァージニア・ウルフと写真」(イギリス、パーミンガム大学)などで多数の研究発表をする一方、文化研究としては『風呂敷』を翻訳しオランダ、ベルギーで出版され、ピーター夫妻編『英国婦人家庭画報1852-56』全5巻、及びマリオ・プラーツ編『英文学論集』全10巻などを編集・出版し、ツーリズムをテーマとして追究した『英国流旅の作法—グランド・ツアーから庭園文化まで』(2020)を出版している。現在、『ヴィクトリア朝文化事典』を編集長として編集中であり、ブレイク学者で和紙研究者である寿岳文章の評伝を執筆中である。



キャスリーン・A・ベイカー

紙史研究者兼教育者、元ミシガン大学図書・紙資料保存修復士、ザ・レガシー・プレス経営者 ニューヨーク州立大学クーパースタウン・バッファロー校大学院の美術品保存修復課程で紙の保存修復を指導(1978-1993)。その後、『みずからの手と足で：ダード・ハンター伝記(By His Own Labor: The Biography of Dard Hunter)』執筆に向けた調査に入り、2000年に同書を発表。アラバマ大学より、ブックアートの美術学修士号(2000)ならびにコミュニケーション研究の博士号(2004)を取得。ミシガン大学図書館で2005年から2016年まで紙資料・図書資料の保存修復士をつとめ、退任して保存修復担当名誉司書となる。1997年に設立した自身の出版社、ザ・レガシー・プレス(<http://www.thelegacypress.com/>)は、印刷・紙・製本のわざと美をテーマとして扱っている。



山仲 進

兵庫県多可町立杉原紙研究所・和紙博物館寿岳文庫ボランティアメンバー

大学時代に考古学を修め、全国各地の発掘現場で調査に参加。卒業後、関東地方で自治体職員や高校教諭として勤務する。越前の紙漉きを報じた新聞記事に触発され、1973年から兵庫県加美町(現在の多可町)に移住し、前年に開所した杉原紙研究所で紙漉きを学ぶ。1983年、自宅で紙漉きの仕事を始める。かたわら、近隣の埋蔵文化財の発掘調査と研究に従事する。2012年から、多可町の和紙博物館寿岳文庫に寄贈されていた、寿岳文章が1930年代後半に収集した日本の手漉紙の調査整理と研究に取り組む。図録『寿岳文章の集めた和紙』(2016年)を協力編集し、和紙博物館の展示や案内を担う。『寿岳文章一人と仕事』展 実行委員会 副会長(2020年)



クレア・クッチオ

独立研究者、学術編集者兼翻訳者、ウッドペーパーハンド創設者

日本の版画・紙漉き文化、アジアの職人、ならびに世界の工芸を研究する独立研究者。工芸のスペシャリストとして、特に日本、中国、インドネシア、ネパール、北米を中心に、昔ながらの職人や現代のクリエイターなど工芸界の専門家とコラボレーションを行う。同志社大学の京都アメリカ大学コンソーシアム(KCJS)、神戸市外国語大学、横浜市のBankART 1929プロジェクト、北京外国語大学、カトマンズのトリバン大学などで講演。3年に一度開催される国際版画会議(IMC)の議長も務めた。世界クラブ会議や『現代の製紙(Printmaking Today)』『手漉紙(Hand Papermaking)』『現代工芸(The Journal for Modern Craft)』各誌に寄稿するほか、日本大使館の招きでスピーチも行っている。総合学習のツールとして工芸を捉えるオンラインプラットフォーム、ウッドペーパーハンド(WoodPaperHand)を最近立ち上げた。

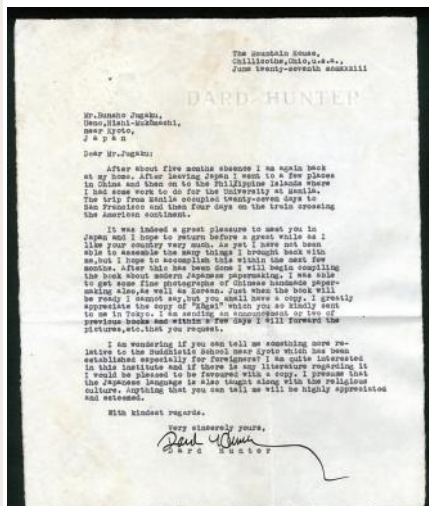


リン・シュアーズ

アーティスト、北米手漉紙協会会長(2018-2020)、ココラン・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザイン名誉教授 アーティストとして進化、時間、変容に関心を持ち、人類学、物理学、地質学を知として学び指標とする。スミノリアン・アーティスト・リサーチ・フェロー(2016)、北米手漉紙協会会長(2018-2020)を歴任。全米大学手漉紙国際展覧会(アートリエナーレ)を創設し会長に就任、また、イタリアの紙を特集した2016年冬季号の『手漉紙(Hand Papermaking)』誌では客員編集員をつとめる。オールドゲサイリ―遺跡(ケニア)、ファブリアーノ紙と透かし漉きの博物館(イタリア)、カバジェラス製紙工場博物館(スペイン)でのアーティスト・イン・レジデンスに招聘されるとともに、米國務省の海外派遣芸術家としてスリランカに滞在。京都工芸繊維大学(日本)、イスタンブール・グラフィックアート美術館(トルコ)、メキシコ国立自治大学(メキシコシティ)などで客員芸術家として活動する。作品は米國議会図書館、イェール大学、ニューヨーク公立図書館のジョンバーグ・コレクションなどに収蔵されている。



向日庵・寿岳邸 (京都府向日市上植野町)



寿岳文章宛てダード・ハンター書簡 (1933年6月27日付、向日庵資料)



『紙漉村日記』(1943年9月、京都向日版)

シンポジウム関連特別展

寿岳文章 人と仕事

— 向日庵と和紙の旅 —

2021(令和3)年

9月18日(土)~10月24日(日)

午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで) 入館無料

※期間中の休館日：9月21日(火)・27日(月)

10月1日(金)・4日(月)・11日(月)・18日(月)

向日市文化資料館

〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40-1

電話 075-931-1182 / ファクス 075-931-1121

<http://www.city.muko.kyoto.jp/kurashi/bunka/>



阪急東向日駅から徒歩8分
JR向日町駅から徒歩15分